

# 民間企業初！ 絶滅危惧種「イタセンパラ」飼育スタート

三井住友信託銀行 一宮支店では 8/25（木）、環境省より貸与を受け「イタセンパラ」の生体 10 匹の飼育をスタートしました。民間企業におけるイタセンパラ飼育は、初めての取り組みとなります。



国の天然記念物に指定されている「イタセンパラ」は、コイ科タナゴ属の日本固有種で、ワンドと呼ばれる河川敷内の水たまりに生息しています。板のように平らで（イタ）、鮮やかな（セン）、腹をもっている（ハラ）ことが、名前の由来といわれています。現在は、琵琶湖淀川水系、濃尾平野、富山平野の 3 ヶ所でしか生息が確認されていない希少種ですが、密猟や生息環境の悪化、外来種などの影響により個体数が減少し、環境省のレッドリストの中で絶滅危惧 1A 類に分類されています。

一宮支店では 2012 年より木曾川流域の生態系保全活動に継続して取り組み、今般、環境省からの認可を受け、民間企業初となる「イタセンパラ」の飼育活動をスタートしました。

イタセンパラは国の天然記念物であると同時に絶滅危惧種でもあるため、慎重に取り扱わなければなりません。ロビーでの飼育にあたっては、一宮市尾西歴史民俗資料館や世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふをはじめとした、イタセンパラ保全に長年取り組んでこられた地域の皆さまからのアドバイスをいただきながら、住みやすい環境づくりを心がけ、産卵の準備に必要なことについても教えていただく予定です。



一宮支店のイタセンパラの飼育活動については、With You 支店ブログにて随時報告しますので、是非ご覧ください。 <http://branchblog.smtb.jp/tokai/ichinomiya/>